

御所湖隨想

H23年6月 No.23

さわらな危険

御所湖周辺でもっとも危険な生物は、スズメバチのようです。以前に山を歩いていた時に、『カチッ、カチッ』と音がするので振り向いたところ、スズメバチが飛んでいました。近くに巣があるのでしょう。威嚇のために音を出すことは本で読んで知っていましたが、実際に遭遇すると、かなり怖いものでした。姿勢を低くし、スズメバチが飛び去るのを確認してから来た道を引き返しました。またある時は、藪をかき分けていたら、目の前にスズメバチの大きな巣があり、それこそあわてて後ずさりしたこともあります。対処法としては、頭を隠しながら姿勢を低くし、じっと動かないことです。あわてて手で払ったりすれば、それこそ命に係わります。また、熊も怖いのですが、ほとんど出会ったことはありません。たいていの場合は、熊の方で退避してくれるようです。安心は禁物ですが…。



これはヤマウルシです。手で搔かないで下さいね。さらに被害が広がります。水で洗い流して、病院に直行がベストです。この2種は紅葉が鮮やかなので、その時期には気付く人もいますが、他の季節には案外気付かないようです。山菜のシーズンにはこの写真のように地面をはっているものに触ってしまうこともありますのでご用心！

次に、野山を散策する際に気を付けたい植物としては、ウルシの仲間です。肌の弱い人は近くを通り過ぎてもウルシにかぶれると言います。御所湖では‘ヤマウルシ’と‘ツタウルシ’の2種類が比較的多く見られます。間違っても切ったり折ったりして、樹液に触れないようにしてください。特にツタウルシの方が強いと言います。いくらかゆいからと言っ



これはツタウルシです。

【似ている植物】わからない人は、毎月行っている自然観察会に来てね



オニグルミ



ヌルデ



ナツツタ